

令和元年度男女共同参画事業の実施内容について

資料2

No.	事業名	目的	実施時期	令和元年度の実施内容及び上半期の実績	
1	男女共同参画出前講座	市内の企業、事業所、各種団体等が主催する男女共同参画に関する講座等に専門家を講師として派遣することにより、学習の機会を提供し、男女共同参画に対する意識を高める。	募集 5月～11月末日 12月19日(木)実施予定	北小学校にて12月19日実施予定。 内容について調整中。	市内の企業へは、商工会を通じてのちらしの配布を実施。今後直接の働きかけを行う予定。
2	男女共同参画週間の取組	国の啓発週間に合わせて啓発活動を行い、市民が男女共同参画についての理解を深めた。	6月3日(月)～6月28日(金)実施	【男女共同参画図書コーナーの設置】 場所:中央図書館、まちづくりセンター 中央図書館25冊、まちづくりセンターに5冊設置 テーマ「女性活躍推進について」 6月号広報に特集記事を掲載	 <p>中央図書館</p>  <p>まちづくりセンター</p>
3	男女共同参画標語・川柳	標語・川柳を通して、市民が男女共同参画について考えるきっかけとした。	募集期間 6月3日(月)～9月6日(金)	【募集】 小学生(4、5、6年)、中学生を対象に募集 学校を通してちらしを配布	応募数 【今年度】 567点(549名) 【昨年度】 一般の部 24作品(8名) 小中学生の部 415作品(382名) ※今年度より一般の部を廃止
4	男女共同参画月間の取組	愛知県の啓発月間(10月)に合わせて啓発活動を行い、市民が男女共同参画についての理解を深める。	10月14日(月)～10月31日(木)実施	【図書コーナーの設置】 場所:まちづくりセンター・文化の家 各5冊ずつ設置 テーマ:「ワークライフバランス」 ※中央図書館が、特別整理期間中で10月中図書コーナーの設置ができなかったため、文化の家に図書コーナーを設置	 <p>まちづくりセンター</p>  <p>文化の家</p>
5	SNSでの周知・啓発(新規事業)	SNSを通じて、男女共同参画にまつわる各種情報や、講座等の案内を行う。	12月スタート	SNSの活用 ○一般市民を対象にした情報の発信 ・各種情報の発信(女性活躍、DV) ・男女共同参画事業の案内	

No.	事業名	目的	実施時期	令和元年度実施状況	
6	男女共同参画推進部会	計画の進捗状況の確認・検討を行うとともに、職員の資質向上のため、男女共同参画に関する基本的な考え方を学ぶ機会とする。	第1回 11月13日(水)実施 第2回 令和2年1～3月実施予定	【第1回】 ・基本計画の取組状況調査の結果報告 ・NPO法人参画プラネット 代表理事渋谷典子氏 「女性活躍推進について」(予定)	第3次長久手市男女共同参画基本計画内に記載している女性活躍推進計画を念頭に置いたテーマでの実施。
7	市民まつりブース出展	市の男女共同参画に関する取組を市民に知ってもらう。	11月10日(日)実施	【実施予定】 ・子供向け参加型企画(男女共同参画カルタ) ・国際交流協会ブースとの連携 ・パネル展示	子供を対象に男女共同参画を啓発するため、男女共同参画に関するかるたを実施。国際交流協会にほんご教室学習者に、かるたと大人向けアンケート収集を協力してもらう。
8	男女共同参画連続講座	生涯学習の一環として、男女共同参画について市民が学ぶ機会を提供する。	9月28日(土)実施 10月26日(土)実施	NPO法人ながいくの協力により実施 テーマ「子どものこと、仕事のこと、どうする」 参加人数 第1回 34名、第2回17名 第1回講師:中島愛子氏 第2回講師:三ツロ仁子氏 第1回は講師の基調講演後、共働き世帯の夫婦を囲んで座談会を行い、悩みを共有。 第2回はグループワーク形式で、夫婦や育児の様々な悩みを共有し、その日帰ってから役立つ解決方法を検討してもらった。 また同室託児を行い、子ども連れの参加者も参加しやすいようにした。	市民主体のまちづくりの推進に基づき、市民からのテーマの提案や、講座の実施に至るまで、様々な場面で市民との協働を行い、講座を実施。
9	男女共同参画情報紙	【にじいろ】 一般市民へ広く男女共同参画について知ってもらうきっかけとする。	作成:12～2月 印刷:3月 配布:6月	(予定) ・配布部数:2,000部 ・配布先:公共施設、イベントでの配布	掲載内容を見直し、講座などの実施内容だけでなく、男女共同参画の基本的な事項についても再度掲載ができるよう、紙面内容を検討予定。
		【自分らしく】 次世代を担う子どもたち(中学生)に、性別にとらわれない職業選択を切り口として男女共同参画の理念を伝える。	作成:12～2月 印刷:3月 配布:6月	(予定) 配布部数:2,000部 配布先:中学校全生徒	平成30年度に引き続き、大学連携の一環で、市内大学の学生がインタビュー、イラスト制作、レイアウト等を行うように依頼済、現在調整中。